



応援します! あなたのチャレンジを

平成17年度 要覧



福岡県立社会教育総合センター



運営方針と重点目標

1 運 営 方 針

県立社会教育総合センターは、本県における生涯学習推進の中心的な施設として、市町村や関係団体等の生涯学習を振興する活動と県民一人ひとりの自主的・主体的な学習活動の支援に努めます。

2 重 点 目 標

上記の運営方針の基に、平成17年度は「福岡県教育行政の目標と主要施策」に掲げる主要施策「志を持ったたくましい青少年の育成」及び「豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現」を具現化するために次のとおり重点目標を定めます。

教育行政主要施策 1 志を持ったたくましい青少年の育成のために

- (1) 「青少年アンビシャス運動」を積極的に推進するとともに青少年の体験活動の機会・場の充実に努めます。
 - ① 野外活動・ボランティア活動等体験活動の支援
 - ② 団体宿泊活動の支援
 - ③ モデル的・先導的事業の開発
 - ④ 学社連携・融合事業の推進
- (2) 家庭と地域の教育力の向上に努めます。
 - ① 家庭教育についての情報提供・相談活動の充実
 - ② 子育てグループ・団体の育成とリーダーの養成
 - ③ 体験活動指導者の養成

教育行政主要施策 2 豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現のために

- (1) 学習の機会・場の拡充に努めます。
 - ① 研修団体・グループの施設利用の促進
 - ② 施設利用者の学習活動を支援するサービスの向上
 - ③ 社会人のための学習機会の提供
- (2) 調査研究活動の充実に努めます。
 - ① 生涯学習・社会教育行政推進に必要なデータの収集・整理・提供
 - ② 家庭教育についての調査研究
 - ③ 施設における学社連携・融合についての実証的研究
- (3) 学習情報提供・学習相談活動の充実に努めます。
 - ① 情報提供システムの整備充実
 - ② 学習相談活動の充実
 - ③ 県視聴覚ライブラリーの活用促進
- (4) 研修事業の充実に努めます。
 - ① 生涯学習・社会教育行政職員等研修の充実
 - ② 生涯学習・社会教育関係団体等民間指導者研修の充実
 - ③ 実践研究・交流研修の推進
- (5) 学習ボランティアセンター機能の整備充実に努めます。
 - ① 学習ボランティアについての情報の収集・提供・相談体制の整備充実
 - ② 学習ボランティア受入れの推進と活動の充実
 - ③ 学習ボランティアの養成



目 次

平成17年度事業と予算	02
1. 事業	
2. 平成17年度予算	
平成16年度実績	06
1. 事業	
2. 施設の利用状況	
3. 学習相談状況	
4. 家庭教育相談「親・おや電話」	
施 設 概 要	15
1. 建築概要	
2. 施設設備	
3. 福岡県視聴覚ライブラリー	
4. 利用案内	
5. 使用料一覧	
組 織 ・ 機 構	21
職員数・職員一覧	22
沿 革	23
施 設 配 置 図	25
交 通 案 内	26

県立社会教育総合センターは昭和59年4月に県立社会教育総合センター少年自然の家との複合施設として設置され、今年で21年目を迎えます。県民の生涯学習を支援する社会教育施設として、①生涯学習に関する調査研究と教材の開発、②学習情報の提供と学習相談事業、③研修事業と指導者の育成、④青少年健全育成と団体活動の振興に取り組んでいます。



平成17年度 事業と予算

1 事業

① 青少年体験活動推進事業

事業名		ねらい・内容	対 象	期 間
子どもの体験活動の機会・場の提供	「和き合い愛塾」 inささぐり	○養護学校との連携事業 ○障害のある子どもたちに自然体験、宿泊体験などの体験活動の機会を提供する。 ○保護者に家庭教育相談や情報交流の場を提供する。 ○近隣高校生のボランティア体験学習を兼ねる。 ○県内大学・専門学校生等がボランティアとして参加する。 ◎プログラム ・子どもの活動(陶芸・絵画・ハイキング等) ・大人の活動(家庭教育相談、茶道等) ・親子の活動(音楽鑑賞・パネルシアター等)	障害のある児童・生徒とその家族 20家族程度 活動支援ボランティア	1回目 8月20日(土) ～21日(日) 2回目 10月15日(土) ～16日(日) 3回目 3月11日(土) ～12日(日)
	ワクワク・ドキドキ・ウィークエンド	○1泊2日の自然体験、異年齢生活体験を中心とした様々な体験活動を提供する。 ○近隣高校生・中学生のボランティア体験学習を兼ねる。 ○県内大学・専門学校生がボランティアとして参加する。 ◎プログラム ・地域行事参加(みこしかつぎ、夏祭り) ・クラフト活動、キャンプファイヤー ・ハイキング、人工芝スキー等	小学1～6年生 100名程度 活動支援ボランティア	1回目 7月 9日(土) 10日(日) 2回目 12月 3日(土) ～4日(日) 3回目 2月18日(土) ～19日(日)
指導者等の研究	生きる力を育む子どもの体験活動推進セミナー (学社連携・融合事業)	○市町村等で実施されている「子どもの体験活動」についての実践を持ち寄り、子どもの生きる力を育むための方策を協議する。 ○学校教育と社会教育の連携・融合を推進する。 ◎プログラム ・分科会、特別講演等	社会教育行政職員、学校教育関係者(小・中学校教職員)、地域活動指導員、地域子ども教室関係者、アンビシャス広場関係者、子どもの体験活動等の指導者、PTA・NPO・ボランティア関係者等	11月10日(木)
	青少年体験活動 コーディネート研修	○子どもの体験活動を充実させるため、体験活動の機会や場の開発、情報収集・提供、学校と活動先とのマッチング等コーディネート機能の充実を図る。 ◎プログラム ・講演、分科会等	子どもの居場所づくり・市町村支援センターコーディネーター、地域活動指導員、社会教育指導員、社会教育・学校教育関係者等	6月23日(木) 2月14日(火)

② 家庭と地域の教育力支援事業

事業名		ねらい・内容	対象	期間
家庭教育相談	家庭教育相談電話「親・おや電話」	○幼年期から少年期における子どもの保護者を対象に、家庭教育全般にわたる相談に応じる。 ・電話による相談 ・面接による相談	親(保護者)等	月～土曜日 9:00～24:00 (24:00～9:00は留守番電話とファクシミリで対応) ※第2月曜日・祝日・国民の休日・年末年始は除く
	子育てアドバイザーセミナー	○子育てアドバイザー(子育てサポーターリーダー等)が、相互の実践や情報等を共有し、また子育て支援に関する専門的知識や技能の習得を通して、アドバイザーとしての資質の向上を図る。 ◎プログラム ・午前 公開講座(講義中心) ・午後 専門研修(講義、演習、協議)	子育てアドバイザー、子育て(支援)グループ関係者等	9月21日(水) 9月29日(木) 10月14日(金) 10月22日(土) 11月18日(金)
指導者等の研修	カウンセリング基礎研修	○カウンセリング(電話相談員等)としての基礎的知識・技術の習得、向上を図る。 ◎プログラム ・基礎知識(カウンセリング理論) ・実技、演習 ・事例処遇、相談技法	県・市町村教育委員会及び各相談機関で相談業務に従事する相談員	9月～12月 断続6日間の日程で実施

事業名	ねらい・内容	対象	期間
子育てネットワーク inふくおか 子育てグループ 等の交流	○子育てグループ、サークルが研修・交流を通して子育て活動の活性化を図る。 ◎プログラム ・1日目 講演、分科会 ・2日目 分科会報告 パネルディスカッション	子育てグループ、サークル、子育て支援関係者等	9月17日(土) ～18日(日)

③ 学習の機会・場の拡充事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
子どもの体験活動カーニバル	○地域住民に施設を開放し学習・交流の場を提供する。 ○ヤングサポーター受講生の体験の場、実践の場として提供する。 ◎プログラム ・体験コーナー(クラフト、野外調理、野外ゲーム、動物広場等)	篠栗町内を中心とした地域住民(親子等)及び県内の体験活動支援者	11月13日(日)
ゆず湯の会	○冬至の時期にあわせて「ゆず湯」等を地域住民に提供し交流を図る。 ◎プログラム ・ゆず湯入浴、クラフト活動、ビデオ上映、講堂の開放、レストランバイキング等	篠栗町内を中心とした地域住民	12月17日(土)
第2回ささぐり 若杉カップ 「中学生女子バレーボール」大会	○バレーボール大会を通じて県内女子中学生の学習・交流の促進を図る。 ◎プログラム ・1日目 予選 ・2日目 決勝リーグ ◎会場 社教センター、篠栗町内中学校体育館等	県内中学生女子	1月 7日(土) ～ 8日(日)
第2回ささぐり 若杉カップ 「小学生ミニ・バスケットボール」大会	○バスケットボール大会を通じて県内小学生の学習・交流の促進を図る。 ◎プログラム ・1日目 予選 ・2日目 決勝トーナメント ◎会場 社教センター、篠栗町社会体育館、篠栗町内小学校体育館等	県内小学生男女	2月 4日(土) ～ 5日(日)
初心者IT講習	○初心者向けのインターネット(パソコン一般を含む)講習会 ◎プログラム ・デジタルカメラの活用法 ・年賀状作成 ○講師はセンターの利用団体が行う。	県民一般	1回目 9月13日(火) 14日(水) 15日(木) 2回目 11月29日(火) 30日(水) 12月 1日(木)
子ども陶芸教室	○センターの窯を活用した陶芸教室 ◎プログラム ・1日目(9/24) 作陶 ・2日目(11/19) 絵付け ・窯だけは自由見学 ○講師はセンターの利用団体が行う。	篠栗町近隣の小学生(1～6年) 30名	9月24日(土) 11月19日(土)

④ 調査研究事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
社会教育調査	○指定統計第83号による事業、施設等調査(3年毎)	市町村教育委員会 社会教育施設等	通 年
家庭教育調査研究事業	○4・5歳児を持つ父親、母親の養育態度、意識の実態調査(5年毎)	保護者	通 年
学社連携・融合に関する実証的研究事業	○施設における学社連携・融合プログラムの実証的な研究を行う。 セカンドスクールの実証的研究事業	宇美町立桜原小学校	10月17日(月) ～21日(金) (5日間)

⑤ 学習情報提供・学習相談事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
情報収集・整理・提供	○生涯学習に関する様々な情報を収集し、ふくおか生涯学習ネットワークにおいて、Web上の提供、リンクの拡大、メルマガの充実等を図り、県民に多様なニーズに応える	県民一般、国、県、市町村、各団体、各施設	通 年
図書資料の収集・整備・提供	○生涯学習・社会教育に関する資料の収集、整備、提供を行う	県民、行政関係者、社会教育関係者等	通 年
学習相談	○学習相談員を配置し、学習者の様々な相談に応じる	県民、行政関係者、社会教育関係者等	通 年
県視聴覚教材の収集・貸出	○社会教育、学校教育において効率的な学習活動の推進に資するため、視聴覚教材の収集や貸出を行う	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	通 年
16mm映写機操作技術認定講習	○16mm映写機の操作技術を習得するため認定講習会を行う ◎プログラム ・視聴覚教育の意義と方法 ・映写機の仕組み、フィルムと取り扱いと管理 ・県視聴覚ライブラリーの利用方法等	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	1回目 8月12日(金) 2回目 11月 7日(月)

⑥ 研修の充実事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
社会教育新任職員研修	○社会教育職員として必要な基本的な理論及び施策についての研修を行い新任職員としての資質向上を図る ◎プログラム ・講義、分科会協議、実践発表等	生涯学習・社会教育新任課長・公民館長・係長、係社会教育主事等	1回 5月12日(木) 2回 6月30日(木) 3回 9月22日(木) 4回 11月25日(金)
マルチメディア研修	○福岡県内における生涯学習関係機関等間のWeb上でのネットワーク化を図るために、市町村、社会教育関係機関職員を対象にパソコンを使ったホームページ作成の具体的な研修を行う ◎プログラム ・2日間 講義、実習等	市町村、社会教育関係機関職員	6月28日(火) 29日(水)
市町村社会教育委員新任者研修	○新たに委嘱された市町村の社会教育委員を対象に、社会教育委員の役割や任務、内容等について研修する	市町村社会教育委員 就任後1年未満の者	6月10日(金)
学習プログラム企画・立案講座	○生涯学習・社会教育行政を推進するために、現代的課題に対応した学習プログラムの企画・立案の手法等について研修し力量を高める ◎プログラム ・1日目(1/19) 講義、演習1 ・2日目(1/26) 演習2、演習3 ・3日目(1/27) 演習4、全体研修等	県及び市町村教育委員会生涯学習・社会教育関係職員	1月19日(木) 26日(木) 27日(金)
男女共同参画推進セミナー	○県・市町村の生涯学習・社会教育関係職員、助成団体リーダー等を対象に、男女共同参画社会の実現のために必要な基本的知識や政策について研修し力量を高める ◎プログラム ・講演、シンポジウム等	県及び市町村の生涯学習・社会教育関係職員・男女共同参画行政担当職員、女性団体リーダー等	9月10日(土)
高齢者社会参加促進セミナー	○高齢化社会に対応した社会参加プログラムの開発や学習の成果を活かした活動の充実をめざす ◎プログラム ・高齢者大学事務局担当者研修 ・事例発表、講演等	ふくおか高齢者大学事務局担当者及び県・市町村関係・担当者等	2月24日(金)
家庭教育支援推進セミナー	○各市町村の家庭教育支援の現状(成果、課題)から今後の充実方策を探る ◎プログラム ・事例研修(実践発表) ・シンポジウム	社会教育関係・生涯学習関係・家庭教育支援関係者	7月 7日(木)
NPO等連携・協働推進セミナー	○NPO等の活力を生かした生涯学習の振興を図るための連携、協働推進方策を探る ◎プログラム ・講演、シンポジウム	社会教育・生涯学習関係職員等	12月 8日(木)

事業名	ねらい・内容	対象	期間
実践・交流研修	第24回中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会 ○「まちづくり」「ひとづくり」に取り組んでいる関係者が一堂に会し、実践発表を通して相互の交流を図る。 ◎プログラム ・1日目(5/20)前夜祭・実行委員会 ・2日目(5/21)研究発表1,2特別報告 ・3日目(5/22)特別企画	生涯学習・社会教育関係者等	5月20日(金) 21日(土) 22日(日)
	第48回福岡県青年大会 ○芸能文化を中心に日頃の活動発表を通して相互の交流を図る ○全国青年大会予選を兼ねる ◎プログラム ・ステージ発表、展示等	県内に居住している青年及び青年を中心に活動している団体	9月4日(日)

⑦ 学習ボランティアセンター機能整備充実事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
学習ボランティア養成・研修	ヤングサポーター養成講座 ○ボランティアに関する講義や体験活動を通してボランティアの基礎知識や技術の習得を図る ◎プログラム ・講話(ボランティア活動の基本) ・実習(ボランティアの体験)	県内中高大50名	7月2日(土) 11月5日(土)
	ボランティア活性化促進事業 ○県立社会教育施設間の交流等を通してボランティア活動の活性化を図る ◎プログラム ・1回目 講話、実践発表、研究協議等 ・2回目 ボランティア(実行委員会)による企画、運営を行う	県立社会教育施設ボランティア等	1回目 6月18日(土) 2回目 1月28日(土) ～29日(日)
学習ボランティア活動の支援	主催事業における活動の場の提供事業 ○主催事業(ワクドキ、ボランティア活動カーニバル、ゆず湯の会等)においてボランティア活動の場を提供する ◎プログラム ・クラフト ・レクリエーション等	ヤングサポーター養成講座修了生等	
	センター学習ボランティア「若杉の会」の支援 ○「若杉の会」の活動を支援することによって会の活性化を図る ◎プログラム ・主催事業の連携、協力 ・広報活動 ・人材紹介等	「若杉の会」会員	

2 平成17年度予算

単位：千円

課 名	区 分	目 名	事 項 名 （ 事 業 名 ）		予 算 額
生涯学 習 課	国庫補助事業	社会教育 総務費	社会教育指導者等研修事業費	女性教育指導者研修費	173
				社会教育専門研修	34
			青少年教育振興事業費		98
	県単独事業	社会教育 施設費	家庭教育充実事業費		4,652
			障害児体験活動支援事業費		1,644
			生涯学習情報提供システム運営費		4,554
			社会教育総合センター運営費		89,460
			社会教育総合センター事業費		1,564
	合 計				102,179



平成16年度実績 ～こんなことをしました～

1 事業

① 青少年体験活動推進事業

事業名	対象	期間	参加者数等
県体験活動ボランティア活動支援センターの運営	県民、学習ボランティア関係団体、社会教育関係者、NPO法人等	通 年	
青少年体験活動ボランティア活動コーディネーター等研修	市町村支援センターのコーディネーター、社会教育・学校教育関係者、NPO・ボランティア関係者	6月22日（火） 2月9日（水）	90名 89名
生きる力を育む子どもの体験活動推進セミナー （学社連携・融合事業）	市町村支援センターのコーディネーター、社会教育・学校教育関係者、PTA・NPO・ボランティア関係者	11月26日（金）	192名
青少年体験活動「ワクワク・ドキドキ・ウィークエンド」	小学生、日本在住の外国人児童	5月29日～30日 7月10日～11日 12月 4日～ 5日	146名 140名 155名
「和き合い愛塾」in ささぐり	障害のある児童・生徒とその家族 各回20家族程度	8月21日（土） ～22日（日） 10月16日（土） ～17日（日） 3月12日（土） ～13日（日）	52名 59名 66名

② 家庭と地域の教育力支援事業

事業名	対象	期間	参加者数等
家庭教育相談電話「親・おや電話」	親（保護者）等	月～土曜日 9時～24時 24時～9時は、留守番電話とファクシミリで対応 （第2月曜日、祝日、年末年始は除く。）	相談件数 1,511件
カウンセリング研修会 ※（地域社会人キャリアアップ推進事業：文部科学省委託）	県・市町村教育委員会及び各相談機関で相談業務に従事する相談員	10月27日 11月 2日 11月 9日 11月25日 11月29日 12月 9日	21名 23名 23名 24名 23名 24名
福岡県子育てアドバイザーセミナー ※家庭教育支援総合推進事業（文部科学省委託）	子育て（支援）グループ関係者、地域婦人会関係者、おやじの会、その他子育て支援に関心のある方	10月31日 11月18日 11月27日 12月16日 1月22日	71名 81名 74名 73名 86名

③ 学習の機会・場の拡充事業

事業名	対象	期間	参加者数等
施設開放事業 (1) 子どもの体験活動カーニバル	(1) 篠栗町内を中心とした地域住民（親子等）及び県内の体験活動支援者	(1) 11月14日（日）	800名
(2) ゆず湯の会	(2) 篠栗町内を中心とした地域住民	(2) 12月18日（土）	250名

④ 調査研究事業

事業名	対象	期間	参加者数等
生涯学習情報ネットワークに関する研究開発	県民一般、県、市町村、各施設	通 年	
福岡県の生涯学習・社会教育基礎データの収集・整理		通 年	
地域社会人キャリアアップ推進事業 ①女性のための在宅ワーク入門講座 ②カウンセリング講座（スキルアップ編）	①女性（離職者等社会人） ②相談業務に従事する相談員	①11月 9日（火）～16日（火） ②10月27日（水）・11月 2日（火） 11月 9日（火）・11月25日（木） 11月29日（月）・12月 9日（木）	①24名 ②27名
家庭教育調査研究事業20年のまとめ		通 年	
学社連携・融合に関する実証的研究事業	(1) 宇美町立桜原小学校5年生90名 (2) 施設利用の小・中・高等学校	(1) 10月4日（月）～8日（金）※4泊5日 (2) 通 年	

⑤ 学習情報提供・学習相談事業

事業名	対象	期間	参加者数等
「ふくおか生涯学習ネットワーク」情報システム	県民一般、県、市町村、各施設	通 年	アクセス件数 59,852件
生涯学習情報通信「新しい風」のWeb上の公開	県民一般、社会教育各施設、国、県、市町村、各団体	適宜更新	
メールマガジンの発行	県内の市町村、社会教育施設、学習グループ、団体、個人（登録した方のみ）	定期発行（月1回）、臨時発行（事業等がある際、適宜送信する）	
テレホンサービスの実施 ☎ (092) 947-8222	県民一般	通 年	
学習相談の対応と資料整備 ☎ (092) 948-0728	県民一般、行政関係者、社会教育関係者等	通 年	相談件数 1,341件

事業名	対象	期間	参加者数等
学習相談基礎研修	学習相談担当者、学習相談関係者	10月25日（月）	7名
視聴覚ライブラリーの活用促進（視聴覚教材の収集・貸出）	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	通 年	
16mm映写機操作技術認定講習	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	8月9日（月） 10月19日（火） 2月5日（土）	16名 11名 5名
社教センター紹介CDの作成	社教センター利用予定者	通 年	

⑥ 研修の充実事業

事業名	対象	期間	参加者数等
社会教育関係新任課長、館長、係長等研修	県・市町村の生涯学習・社会教育関係新任課長・公民館長・係長等	6月18日（金） 1月27日（木）	32名 36名
社会教育関係新任職員研修	県・市町村の生涯学習・社会教育関係新任職員・新任公民館職員等	7月7日（水） 9月8日（水） 10月28日（木）	68名 44名 19名
市町村社会教育委員新任者研修	市町村社会教育委員就任後1年未満の者及び市町村社会教育行政関係者等	6月9日（水）	113名
福岡県社会教育主事等新任者研修会	県及び国立夜須高原少年自然の家の新任の社会教育主（補）等	4月20日（火）	15名
ふくおか高齢者大学事務局担当者研修	ふくおか高齢者大学事務局担当者及び県・市町村担当者等	6月29日（火） 2月25日（金）	33名 34名
行政職員のための、パワーアップ共生学（男女共同参画社会実現のために）	県及び市町村の生涯学習・社会教育関係職員・男女共同参画行政担当職員等	7月2日（金）	28名
学習プログラム企画・立案講座	県及び市町村教育委員会生涯学習・社会教育関係職員	1月13日（木） 1月20日（木） 1月21日（金）	24名 23名 20名
シリーズ「社会教育行政セミナー」	県及び市町村教育委員会生涯学習・社会教育関係職員	7月14日（水） 11月17日（水）	120名 44名
マルチメディア研修	市町村、社会教育関係機関職員	11月29日（月）～30日（火）	15名

事業名	対象	期間	参加者数等
初心者IT講習	県民一般	9月 7日(火)～ 9日(木) 12月 1日(水)～ 3日(金) 12月 9日(木)～10日(金)	27名 36名 15名
楽しく生きる共生学セミナー (男女共同参画社会実現のために)	各種女性団体指導者、県及び 市町村教育委員会担当職員等	12月 4日(土)	61名
中国・四国・九州地区生涯学 習実践研究交流会 (共催事業)	生涯学習・社会教育関係者等	5月15日(土)～16日(日)	418名
福岡県青年大会 (共催事業)	県内に居住している青年及び 青年を中心に活動している団 体	9月 5日(日)	150名

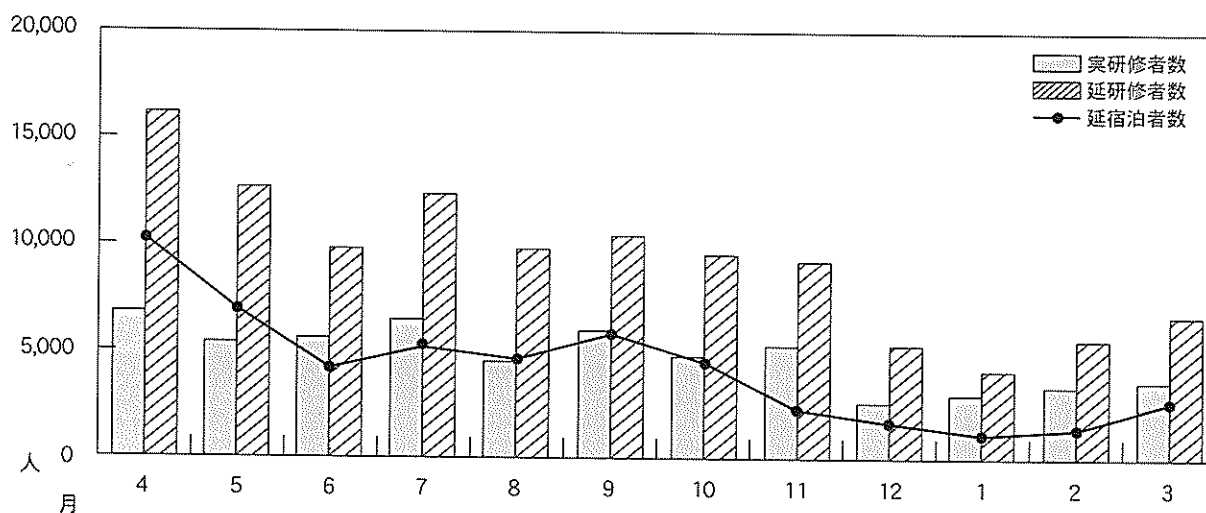
⑦ 学習ボランティアセンター機能整備充実事業

事業名		対 象	期 間	参 加 者 数 等
学 習 ボ ラ ン ティ ア 研 修	社会教育総合センター ボランティア研修（全 体研修）	社会教育施設でボランティア 活動に携わっている者及び志 す者	6月12日（土）～13日（日）	15名
	自然体験活動サポータ ー養成講座	社会教育施設でボランティア 活動に携わっている者及び志 す者	7月17日（土）～18日（日）	23名
	「ものづくり」サポー ター養成講座	社会教育施設でボランティア 活動に携わっている者及び志 す者	11月21日（日） 1月30日（日）	25名 19名

2 施設の利用状況

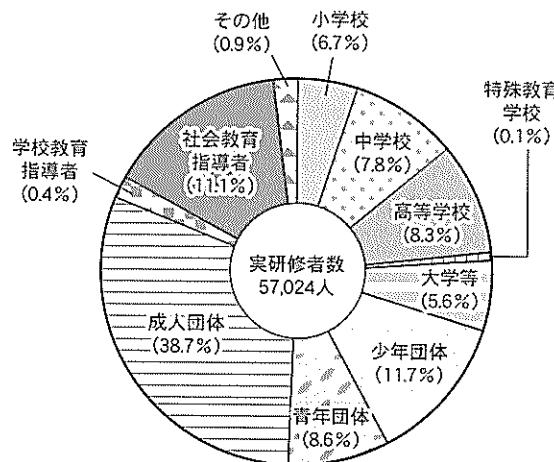
① 月別利用状況

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実研修者数	15	6,959	5,535	5,275	5,467	5,815	5,271	4,773	5,765	3,439	2,230	4,092	2,868	57,489
A	16	6,987	5,632	5,753	6,350	4,053	5,435	4,862	5,535	2,357	2,983	3,504	3,573	57,024
延研修者数	15	15,334	10,918	9,098	10,510	11,515	10,024	9,826	8,598	5,158	3,584	5,771	5,725	106,061
B	16	16,775	12,876	9,929	12,788	9,685	10,385	9,120	8,307	5,005	4,289	5,179	6,499	110,837
延宿泊者数	15	8,527	5,593	3,624	5,517	5,700	5,005	5,055	2,858	1,691	1,080	1,400	2,627	48,677
C	16	10,044	6,673	4,433	5,078	4,364	5,229	4,259	2,385	1,995	1,144	1,702	2,740	50,046
団 体 数	15	112	118	106	109	118	83	99	97	81	66	88	92	1,169
D	16	71	86	104	118	84	97	126	101	80	84	93	136	1,180
開 所 日 数	15	30	29	28	30	31	28	29	28	26	25	27	30	341
E	16	30	30	28	30	31	28	29	28	26	25	26	29	340
宿泊可能日数	15	30	27	26	29	31	26	27	26	24	23	25	29	323
F	16	30	29	26	29	31	26	27	26	24	23	24	28	323
一 日 平 均	研修者数	15	511.1	376.5	324.9	350.3	371.5	358.0	338.8	307.1	198.4	143.4	213.7	311.0
B/E→G	16	559.2	429.2	354.6	426.3	312.4	370.9	314.5	296.7	192.5	171.6	199.2	224.1	326.0
利 用 率	15	161.7	119.1	102.8	110.9	117.6	113.3	107.2	97.2	62.8	45.4	67.6	60.4	98.4
G/316→H	16	177.0	135.8	112.2	134.9	98.9	117.4	99.5	93.9	60.9	54.3	63.0	70.9	103.2
宿 泊 人 数	15	284.2	207.1	139.4	190.2	183.9	192.5	187.2	109.9	70.5	47.0	56.0	90.6	150.7
C/F→I	16	334.8	230.1	170.5	175.1	140.8	201.1	157.7	91.7	83.1	49.7	70.9	97.9	154.9
宿 泊 率	15	89.9	65.5	44.1	60.2	58.2	60.9	59.2	34.8	22.3	14.9	17.7	28.7	47.7
I/316→J	16	105.9	72.8	54.0	55.4	44.6	63.6	49.9	29.0	26.3	15.7	22.4	31.0	49.0



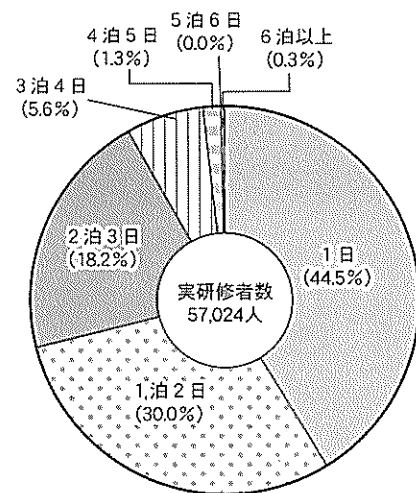
② 団体種別

区 別		合 計		割合
		団体数	研修者数	%
学 校 利 用	小 学 校	50	3,847	6.7%
	中 学 校	37	4,428	7.8%
	高 等 学 校	36	4,734	8.3%
	特 殊 教 育 学 校	1	62	0.1%
	大学・短大・高専・専修・各種学校	27	3,187	5.6%
	小 計	151	16,258	28.5%
少 年 団 体		132	6,678	11.7%
青 年 団 体		152	4,920	8.6%
成 人 団 体		621	22,086	38.7%
学 校 教 育 指 導 者		3	234	0.4%
社 会 教 育 指 導 者		110	6,314	11.1%
そ の 他		11	534	0.9%
合 計		1,180	57,024	100.0%



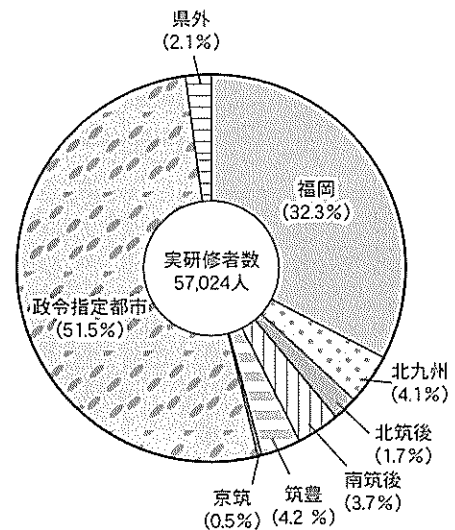
③ 宿泊数別

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	
1 泊 2 日	751	25,403	44.5%
2 泊 3 日	276	17,103	30.0%
3 泊 4 日	93	10,357	18.2%
4 泊 5 日	42	3,219	5.6%
5 泊 6 日	12	741	1.3%
6 泊 以上	4	179	0.3%
合 計	1,180	57,024	100.0%



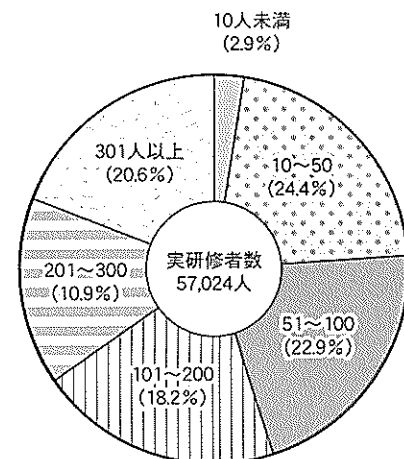
④ 地域別

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	
福岡	555	18,399	32.3%
北九州	26	2,312	4.1%
北筑後	11	947	1.7%
南筑後	72	2,097	3.7%
筑豊	54	2,396	4.2%
京筑	7	299	0.5%
政令指定都市	416	29,367	51.5%
県外	39	1,207	2.1%
合 計	1,180	57,024	100.0%



⑤ 団体規模別

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	
10人未満	301	1,682	2.9%
10～50	582	13,933	24.4%
51～100	167	13,057	22.9%
101～200	77	10,360	18.2%
201～300	26	6,218	10.9%
301人以上	27	11,774	20.6%
合 計	1,180	57,024	100.0%



3 学 習 相 談 状 況

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	相談方法		
相 談 件 数		82	142	186	171	121	113	134	125	81	75	66	45	1,341	来所	電話	文書
相 談 人 数		82	142	186	171	121	113	134	125	81	75	66	45	1,341			
相 談 者 別 内 訳	① 市 町 村 (首長部局・教委等)	31	42	48	42	59	22	30	36	27	18	23	14	392	74	317	1
	② 県 (知事部局・③を除く教委)	3	1	7	2	3	1	1	1	7	4	0	4	34	11	23	0
	③ 教 育 事 務 所 ・ 県立社会教育施設	7	13	26	17	8	38	21	18	16	12	11	5	192	112	79	1
	④ 学 校 (幼・小・中・高・大)	19	53	69	52	29	27	43	37	17	24	20	11	401	108	293	0
	⑤ 団 体 ・ グ ル ー プ	15	24	27	49	15	25	22	19	9	9	10	7	231	99	128	4
	⑥ 個 人	1	4	2	2	1	0	4	10	0	2	1	3	30	8	22	0
	⑦ 県 外 (県・市町村・その他)	5	5	7	7	3	0	13	4	5	4	1	1	55	1	52	2
	⑧ そ の 他	1	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	6	1	5	0
計		82	142	186	171	121	113	134	125	81	75	66	45	1,341	414	919	8
相 談 分 野 別 内 訳	① 施 設	2	11	5	1	1	0	2	2	0	0	0	0	24	5	18	1
	② 団 体 ・ グ ル ー プ	2	3	2	0	1	1	2	0	0	0	0	1	12	1	11	0
	③ 人 材	19	23	19	21	10	11	19	7	7	19	6	4	165	11	153	1
	④ 催 し	1	1	4	2	4	1	5	6	0	2	1	0	27	0	25	2
	⑤ 図 書 ・ 資 料	3	19	23	46	38	38	14	6	14	8	15	4	228	190	38	0
	⑥ 視 聴 覚 教 材	48	81	130	93	62	56	76	80	45	42	38	32	783	190	593	0
	⑦ 資 格	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0
	⑧ 窓 口	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	⑨ そ の 他 (含先進地視察など)	7	4	3	7	5	5	16	24	15	4	6	3	99	17	78	4
計		82	142	186	171	121	113	134	125	81	75	66	45	1,341	414	919	8

注) H10年度から、図書・資料利用者を含む。

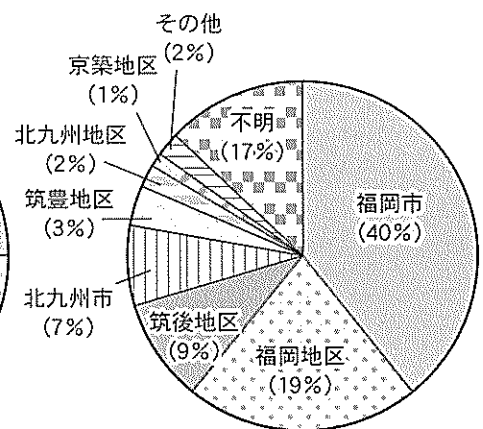
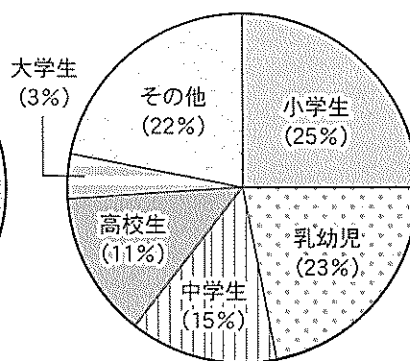
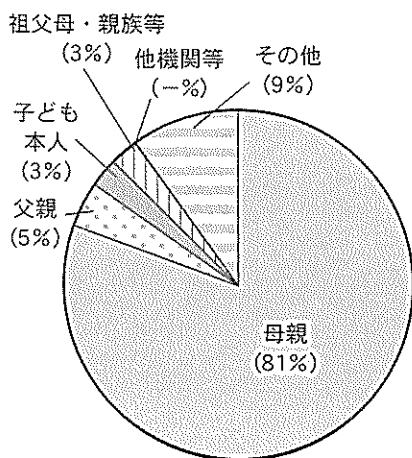
4 家庭教育相談「親・おや電話」

① 月別相談件数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼 間	111	104	122	113	71	97	108	81	69	79	69	78	1,102
夜 間	48	38	49	40	32	34	29	27	23	29	29	31	409
昼 + 夜	159	142	171	153	103	131	137	108	92	108	98	109	1,511

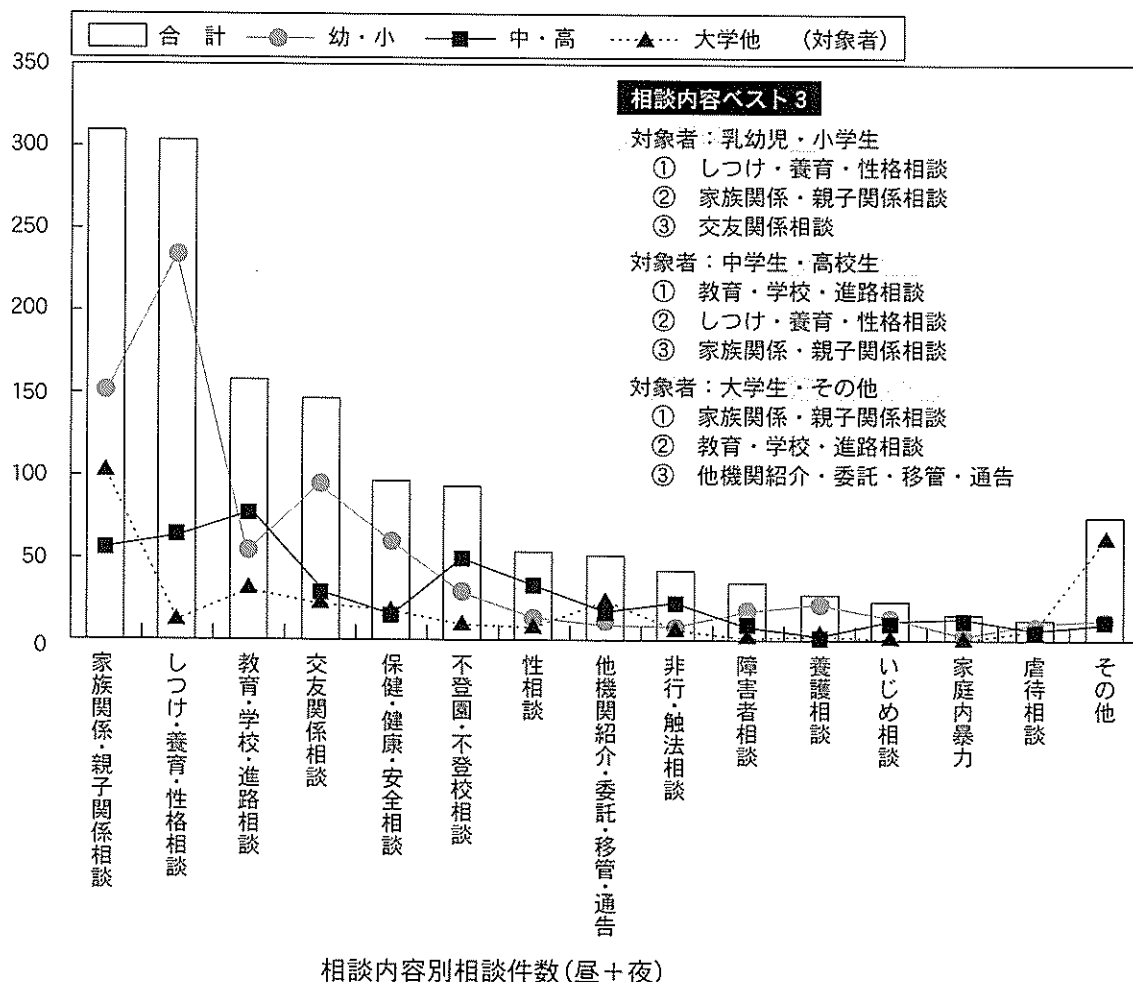
② 相談者・対象者・地区別相談件数

			昼 間	夜 間	昼 + 夜	割 合
相 談 件 数			1,102	409	1,511	100%
相 談 者	母 親	872	346	1,218	81%	
	父 親	59	14	73	5%	
	子 ど も 本 人	22	16	38	3%	
	祖 父 母 ・ 親 族 等	41	5	46	3%	
	他 機 関 等	2	1	3	－	
	そ の 他	106	27	133	9%	
	小 計	1,102	409	1,511	100%	
対 象 者	乳 幼 児	191	159	350	23%	
	小 学 生	298	84	382	25%	
	中 学 生	184	47	231	15%	
	高 校 生	124	48	172	11%	
	大 学 生	29	22	51	3%	
	そ の 他	276	49	325	22%	
	小 計	1,102	409	1,511	100%	
地 区	福 岡 市	450	157	607	40%	
	北 九 州 市	61	43	104	7%	
	福 岡 地 区	205	89	294	19%	
	北 九 州 地 区	26	4	30	2%	
	筑 豊 地 区	37	9	46	3%	
	京 築 地 区	12	5	17	1%	
	筑 後 地 区	112	23	135	9%	
	そ の 他	14	14	28	2%	
	不 明	185	65	250	17%	
	小 計	1,102	409	1,511	100%	



③ 相談内容別相談件数

相談内容	対象者	昼 間			夜 間			昼 + 夜			合 計	割 合
		幼・小	中・高	大学他	幼・小	中・高	大学他	幼・小	中・高	大学他		
家族関係・親子関係相談 (育児ストレス含む)		88	45	85	63	11	18	151	56	103	310	22%
しつけ・養育・性格相談		186	53	7	49	12	2	235	65	9	309	22%
交友関係相談(親同士含む)		68	21	20	26	7	4	94	28	24	146	10%
教育・学校・進路相談		43	60	30	11	10	5	54	70	35	159	11%
保健・健康・安全相談 (心身症・うつ・チック症含む)		27	8	6	37	8	10	64	16	16	96	7%
不登園・不登校相談		27	42	5	4	12	3	31	54	8	93	6%
性 相 談		13	24	3	5	11	2	18	35	5	58	4%
他機関紹介・委託・移管・通告		9	14	29	2	0	0	11	14	29	54	4%
いじめ相談(ケンカ含む)		8	6	0	4	2	0	12	8	0	20	1%
非行・触法相談		6	17	6	4	5	2	10	22	8	40	3%
障害者相談		3	5	3	14	5	0	17	10	3	30	2%
虐待相談		5	1	1	2	2	0	7	3	1	11	—
養 護 相 談		1	0	0	19	2	0	20	2	0	22	2%
家庭内暴力		3	3	0	1	5	1	4	8	1	13	—
そ の 他		4	4	57	4	0	3	8	4	60	72	5%
合 計		491	303	252	245	92	50	736	395	302	1,433	100%
		(不 明 56)			(不 明 22)			(不 明 78)				



施設概要

1 建築概要

敷地面積	201,750m ²
建築面積	5,838m ²
建物延面積	12,492m ²
建築構造	鉄筋コンクリート造
建築工事期間	起工 昭和57年11月19日 竣工 昭和59年3月31日
総工事費	4,321,457,000円
開所	昭和59年4月1日

1階	2,725m ²
2階	4,958m ²
3階	2,434m ²
4階	2,315m ²
P1階 (塔屋)	60m ²

2 施設設備

① 宿泊施設・設備

階	施設名	面積(m ²)	定員	機能	設備
2～4階	宿泊室	延べ 1,262	316ベッド	宿泊	4人用 11室 8人用 34室
2・3階	談話室	延べ 241		交流、研修	
3階	浴室	155		大浴室、中浴室、身体障害者用浴室	

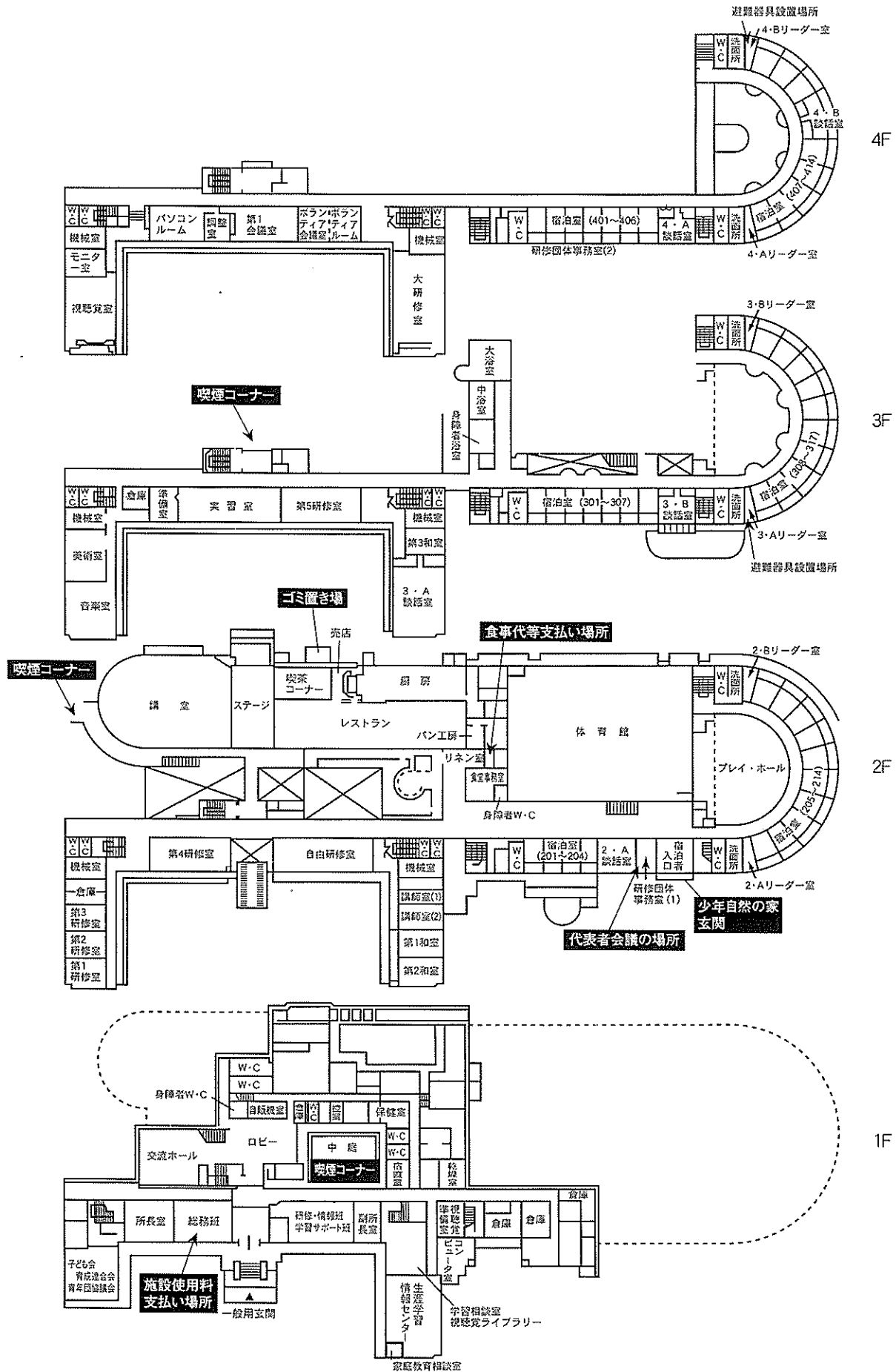
駐車場		80台		第1・第2駐車場
-----	--	-----	--	----------



② 研修施設・設備

階	室 名	定員(人)	機 能	設 備
4階	視 聴 覚 室	80	視聴覚研修（スロープ式研修室）	16ミリ・8ミリ映写機、ビデオ（VHS、β、Uマチック）、ステレオ、モニターテレビ、スライド
	パソコンルーム・調整室	20	パソコン研修	パソコン
	ボランティアルーム		ボランティアの交流	机、応接セット、書棚
	第 1 会 議 室	16	会議	机
	大 研 修 室	120	講義、研修	OHP、ビデオ（VHS）、16ミリ映写機、モニターテレビ
3階	音 楽 室	40	ミニコンサート、音楽練習場	ピアノ、電子オルガン、アコーディオン、ギター、ステレオ、円テーブル
	美 術 室	36	美術研修、工作	糸のこ切り、石こう像、版画プレス
	実 習 室	48	陶芸、七宝焼、木工の製作	陶芸窯、七宝焼炉、粘土ろくろ、木工具、金工具、電気のこ切り
	第 5 研 修 室	48	講義、研修	OHP、黒板、机
	和 室（第 3）	12	和式研修、茶道、華道	座テーブル、茶道道具
2階	講 堂	500	大会、研修室、講演会、映写会	16ミリ映写機、スライド映写機、ピアノ、ステージ
	レ ス ト ラ ン	212	茶話会、軽食、喫茶、クッキング	パン工房
	第 1 研 修 室	18	講義、研修	OHP、黒板、机、移動式モニター
	第 2 研 修 室	18		
	第 3 研 修 室	30		
	第 4 研 修 室	60		
	自 由 研 修 室	60		
	和室（第1・第2）	45	和式研修室（16畳・20畳）	座テーブル
	体 育 館		バレー2面、バドミントン3面、バスケットボール1面（練習2面）、フリーテニス（3面）	各種ネット、柔道畳、体力測定機
	プ レ イ ボ ール		軽スポーツ、交流の場、レクリエーション	
1階	資 料 室		生涯学習関係の図書、資料の閲覧	書棚、閲覧机
	交 流 ホ ール		交流、憩いの場、学習作品の展示	テレビ、応接セット
	控 室		講師控室、学習相談	机、応接セット
	所 長 室・事 務 室		所の管理運営	
	視聴覚ライブラリー		視聴覚教材の貸出し、相談	16ミリ映画、ビデオ教材
野外施設	グ ラ ウ ンド	400	ソフトボール、サッカー	各種スポーツ用具
	野 外 炊 飯 場	100	調理炊飯	炊飯用具一式
	あ じ さい 炊 飯 場	100	野外炊飯	調理台
	野 外 劇 場	60	キャンプファイヤー、レクリエーション、野外音楽	ベンチ
	レクリエーション広場		レクリエーション	
	野 鳥 観 察 小 屋	30	野鳥観察	観察室、テーブル
	り ん ど う 小 屋	20	自然観察、天体観測、交流の場	荒天避難
	た け の こ 広 場	300	朝・夕のつどい、キャンプファイヤー	放送施設、全面舗装
	あ じ さい 小 屋	20	工作	陶芸窯
	あ じ さい 広 場	100	工作	

③ 施設平面図



3 福岡県視聴覚ライブラリー

① 視聴覚教材

社会教育総合センター内に県視聴覚ライブラリーを設置し、次のような教材の貸出をおこなっています。

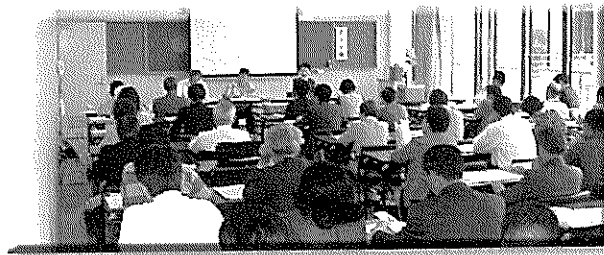
16ミリフィルム	1,288本
ビデオ	2,241本
合計	3,529本

領域の内訳

学 校 教 育	領 域	16ミリフィルム	ビデオ	社 会 教 育	領 域	16ミリフィルム	ビデオ
	国 語	19	63		教 養 ・ 情 操	243	573
学 校 教 育	社 会	82	250	社 会 教 育	健 康 ・ 体 力	69	104
	算 数 ・ 数 学	6	4		家 庭 生 活	56	76
	理 科	120	172		家 庭 教 育	111	303
	生 活 科	2	6		地 域 社 会 生 活	163	279
	音 楽	5	12		人 権 ・ 同 和	152	124
	図 工 ・ 美 術	16	14		国 民 生 活	37	104
	技 術 ・ 家 庭	8	18		国 際 性	17	59
	保 健 ・ 体 育	37	132		職 業 生 活 一 般	9	17
	道 徳	61	150		職 業 の 知 識 ・ 技 術	2	76
	特 別 活 動	77	331		学 習 者 の 特 性	52	68
					学 習 援 助 の 方 法	54	121
					社 会 教 育 施 設	18	7
				一 般 映 画		84	114
				自 作 ビデオ	県コンクール入賞作品		76
					社教センター作品		13
				アニメーション作品		189	195

(平成17年4月1日現在)

※所有本数と領域別の合計本数が異なるのは、1本のフィルム又はビデオが複数の領域で活用が出来るためです。



4 利 用 案 内

当センターは、広く県民の生涯学習を推進する社会教育施設であり、いつでも、だれでも利用出来る体制を整備しています。

利 用 内 容		申 し 込 み 方 法 等	備 考
相 談	学習相談 (体験活動等に関する相談)	だれでも気軽に相談できます。 ☎092-948-0728 E-mail:soudan@fsg.pref.fukuoka.jp	専門の相談員を配置しています。電話による相談の他電子メールによる相談も受付けています。
	家庭教育相談 「親・おや電話」	だれでも気軽に相談できます。 ☎092-947-3515 月曜日～土曜日まで9:00～24:00 (ただし、第2月曜日・祝日・年末年始を除く)	専門の相談員を配置しています。
図 書 資 料 閲 覧		資料室・ロビーの資料が閲覧できます。	
視 聴 覚 教 材 の 利 用		利用申し込みは利用の3か月前から受け付けます。 電話での申し込みによる発送も行います。貸出期間は7日以内、一回の貸し出しは5本以内とします。 郵送は無料、返送のみ負担してください。 受付は休所日を除く毎日8:30～17:00 ☎092-947-3514	
研 修		主催事業と、学校やグループ団体等の研修の受入れをしています。適正な研修計画であれば、だれでも利用できます。また、5人以上であれば、宿泊研修もできます。 利用開始日の6か月前の月始めから1か月前までに申し込んでください。 事前に電話で相談してください。 ☎092-947-3511	ただし、全国規模の大会や研究集会、学校の教育計画として行う研修などで、特に必要があると認めた場合は1年前から申し込みを受け付けます。
見 学 ・ 視 察	団 体	見学希望日の1週間前までに電話で申し込んでください。 ☎092-947-3511	
	個 人	随時受け付けます。	

○休 所 日

毎月第2月曜日、第4日曜日、年末年始(12月28日～翌年1月4日)

○必要な経費

施設設備を使用する場合は、福岡県立社会教育総合センター使用料条例(昭和58年福岡県条例第24号)に定める使用料が必要です。

その他、食費として朝食380円(小370円・幼200円)、昼食590円(小560円・幼300円)、夕食 660円(小620円・幼330円)と、宿泊研修の場合、シーツのクリーニング代120円が必要です。

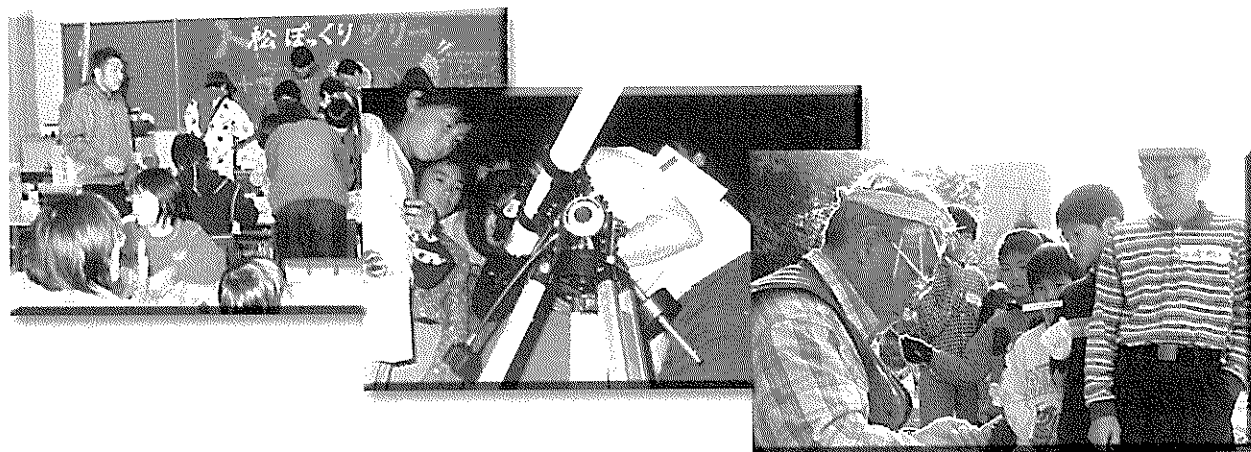
※ () 内の小は小学生料金、幼は幼児(4歳以上就学前)料金です。

5 使用料一覧

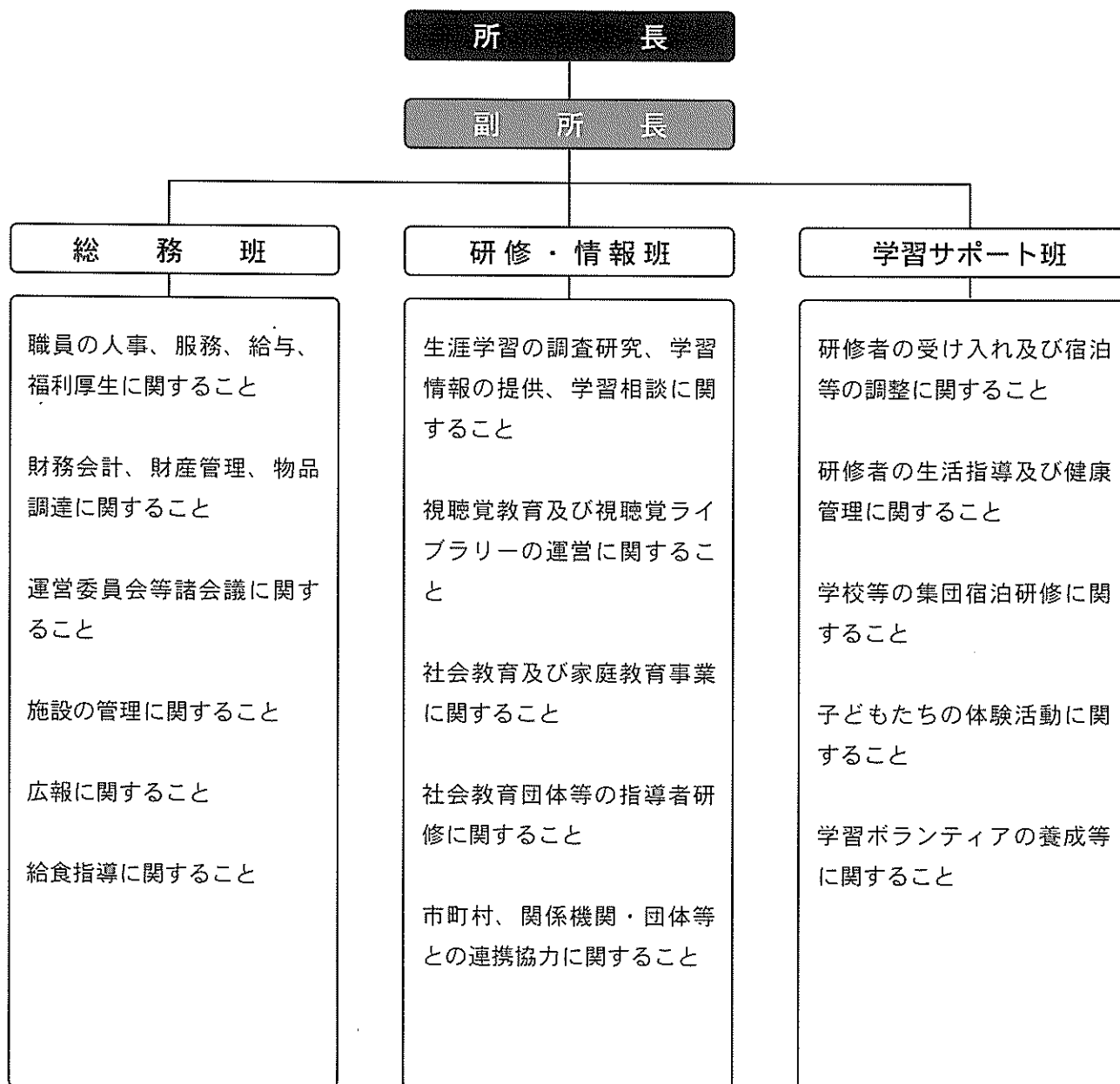
研修室使用料一覧表

	利用時間 ↓ 研修室	9:00 ↓ 12:00	13:00 ↓ 17:00	19:00 ↓ 21:00	9:00 ↓ 17:00	13:00 ↓ 21:00	9:00 ↓ 21:00
2	第1研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第2研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第3研修室	1,050円	1,400円	700円	2,800円	2,800円	4,200円
	第4研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	自由研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	第1和室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第2和室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	講堂	10,680円	14,240円	7,120円	28,480円	28,480円	42,720円
3	音楽室	2,490円	3,320円	1,660円	6,640円	6,640円	9,960円
	美術室	1,410円	1,880円	940円	3,760円	3,760円	5,640円
4	大研修室	3,180円	4,240円	2,120円	8,480円	8,480円	12,720円
	視聴覚室	3,540円	4,720円	2,360円	9,440円	9,440円	14,160円
	宿泊室	1人1泊につき 1,180円					

※料金は税込みです。研修で必要な機材等の要望がありましたら、あらかじめ学習サポート班にお問い合わせください。(092-947-3511)



組 織 ・ 機 構



社会教育総合センターのグループ制 (平成16年4月1日実施)

所長、副所長の下に課を置かないで、施業・業務のまとまりごとに複数のグループ（班）を置いています。

目 的

- ① 意志決定を迅速化し、課題への対応をスピード化すること。
- ② 人の配置を柔軟に行い人材の有効活用を図ること。
- ③ 所属の事務を全員で行うという意識改革を行い、縦割り意識からの脱却を図ることを目的としています。



職 員 数

(平成17年度)

		常勤職員	非常勤職員	臨時職員	計
職 員 数	所 長	1			1
	副 所 長	1			1
	総 務 班	4	1	1	6
	研 修 ・ 情 報 班	8 (1)	6	2	16 (1)
	学 習 サ ポ ー ト 班	5	7		12
視 聴 覚 教 育 協 会				1	1
計		19 (1)	14	4	37 (1)

() は育休者で内数



職 員 一 覧

所 長 菊 川 律 子
副所長 高 橋 章

班名	班長	班 員			
総務班	生田 潔	企画主査 事務主査 主 事	藤 田 益 彦 西 村 隆 信 三 村 哲 平	技 術 嘱 託 臨 時 職 員	末 永 あゆみ 辻 真 子
研修・情報班	田 中 正 則	企画主査 社会教育主事 社会教育主事 社会教育主事 社会教育主事 主 任 主 事 社会教育主事補 臨時職員	竹 森 雅 治 恵 良 章 治 古 賀 靖 紀 朝比奈 昌 二 松 中 祥 泰 白 木 市 康 菅 原 順 子 藤 井 麻 湖	指 導 員 指 導 員 指 導 員 推進コーディネーター 相 談 員 相 談 員 相 談 員	今 中 兵 一 黒葛原 志保子 三 根 弘 子 相 戸 晴 子 井 口 弥 江 東 紀 子 山 口 紀美代
学習サポート班	團 茂 樹	指 導 主 事 指 導 主 事 社会教育主事 社会教育主事補 指 導 員 指 導 員	吉 村 一 幸 高 寄 隆 之 小 野 篤 志 山 崎 陽 子 楠 本 誠 司 井 手 賢 一郎	指 導 員 指 導 員 指 導 員 指 導 員 指 導 員	武 富 時 敏 庄 嶋 勝 司 具 島 幸 子 田 崎 衣 里 内 藤 慎 治
視聴覚教育協会		臨 時 職 員 堀 田 信 子			

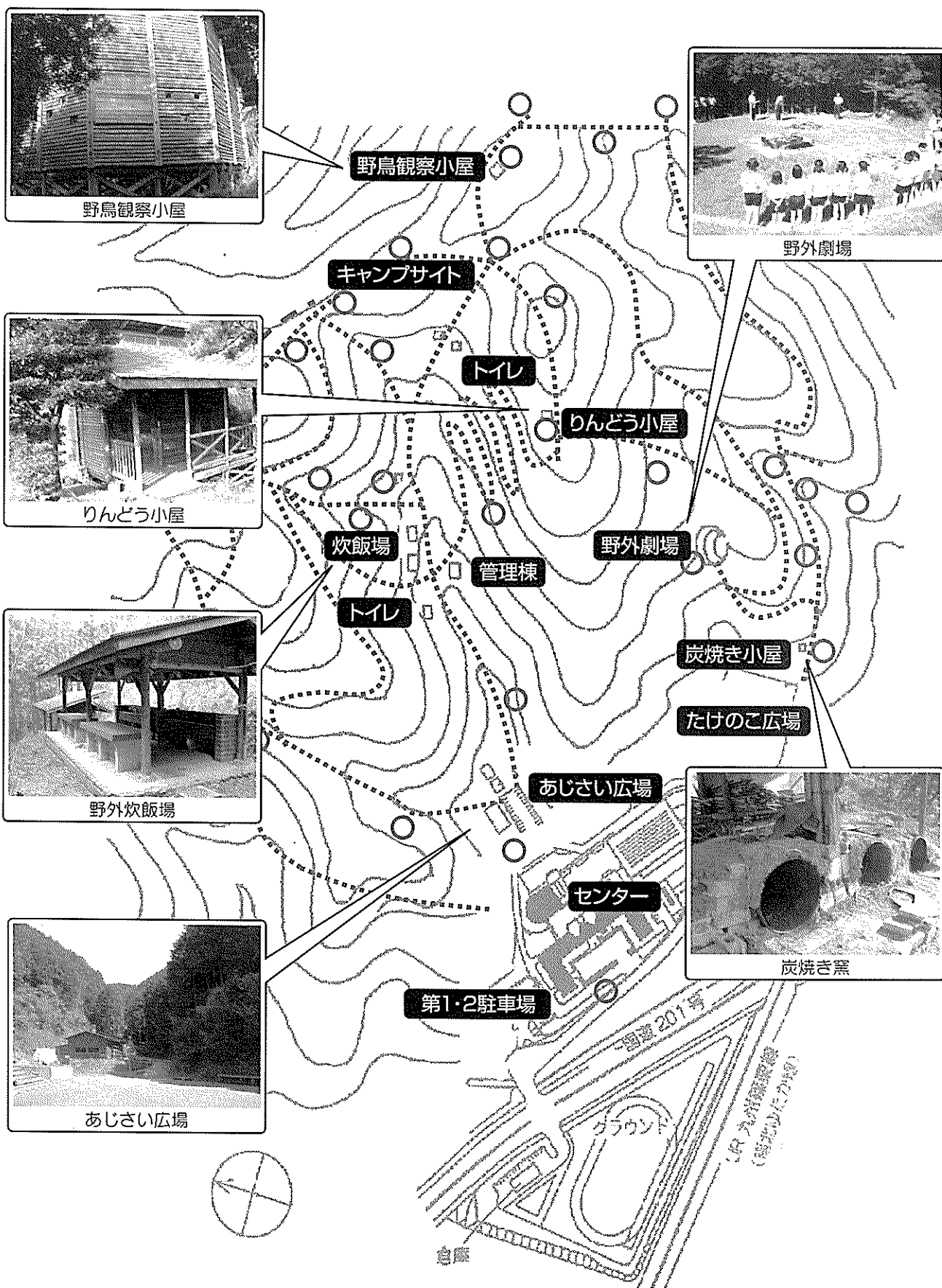


沿革

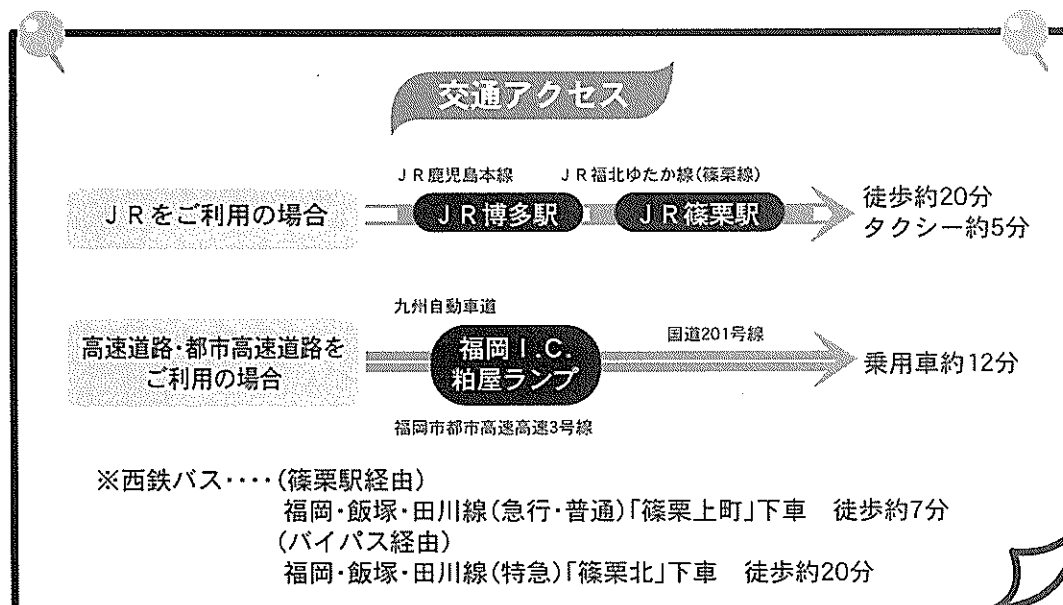
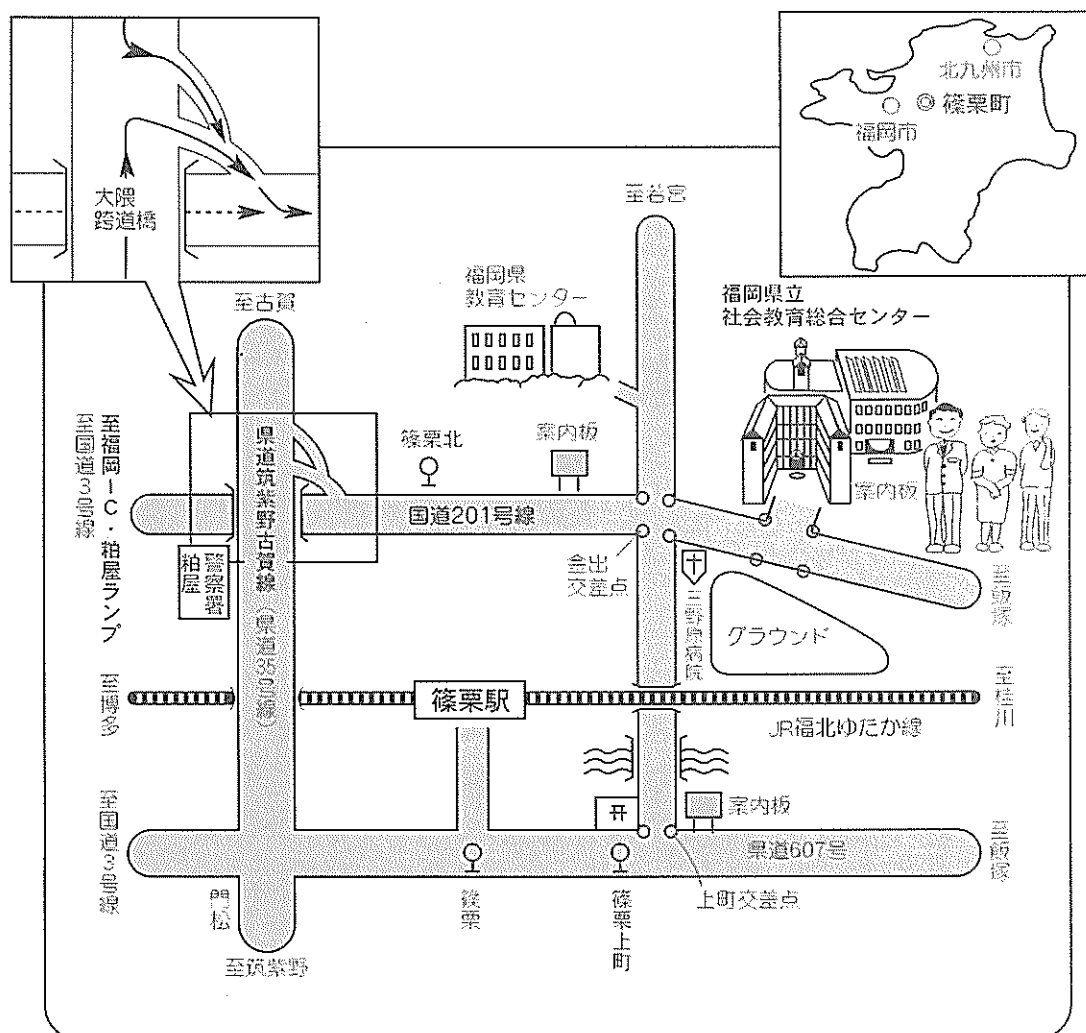
昭和53年9月27日	県社会教育委員の会議で社会教育総合センターの設置についての機運が高まる。
10月6日	県議会一般質問で社会教育総合センターの設置について質問がでる。
12月4日	県社会教育委員の会議が県教育委員会に対して、社会教育総合センターの早期設置を建議する。
12月14日	県議会一般質問で社会教育総合センターの設置について、知事は、昭和54年度に調査費を計上し、昭和55年度に着工したい旨答弁する。
昭和54年1月30日	社会教育関係団体が、16団体の連名で、県立総合社会教育施設の早期実現について知事に陳情する。
4月以降	社会教育課、青少年対策課を中心に先進地調査、準備委員会の人選などに入る。
7月18日	昭和54年度当初予算で調査費として、社会教育課、青少年対策課に各100万円が計上される。
11月28日	社会教育総合センター建設用地として糟屋郡篠栗町が浮上する。
12月10日	「第1回意見を聴く会」が開催される。社会教育総合センターの機能、施設内容について協議する。
12月21日	「第2回意見を聴く会」が開催される。事業内容、建設用地について協議する。
12月28日	篠栗町議会が全員協議会で社会教育総合センターの誘致を決議する。
昭和55年1月19日	「第3回意見を聴く会」が開催される。
8月8日	社会教育総合センター建設用地が篠栗町に決まる。
昭和57年1月11日	造成工事に着工する。
11月19日	建築工事に着工する。
12月10日	造成工事が完了する。
昭和58年4月1日	福岡県立社会教育総合センター設立準備担当職員5人が発令される（社会教育課内）。
12月26日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例（昭和58年福岡県条例第24号）が公布される。
昭和59年1月10日	福岡県立社会教育総合センター設立準備室が社会教育課内に設置（職員7人）される。
1月10日	研修団体の利用申込みの受付を始める。
1月26日	建築工事定礎式が行われる。
3月1日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家組織規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第1号）が公布される。
3月1日	福岡県立社会教育総合センター等の利用等に関する規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第3号）が公布される。
3月15日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例施行規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第9号）が公布される。
4月1日	福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（昭和58年福岡県条例第23号）により、福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家が設置される。
4月1日	安部徹所長（県教育庁教育次長兼任）以下34人が福岡県立社会教育総合センター職員に発令される。
4月10日	福岡県視聴覚教育協会事務局の社会教育総合センター内への移転に伴い、県視聴覚ライブラリーを同センターに開設する。
8月20日	社会教育総合センターの所章（シンボルマーク）が決まる。

9月10日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家の落成式を挙げる。
昭和60年3月9日	野外活動施設（野鳥観察小屋、野外劇場、レクリエーション広場、体育庫、避難小屋）が完成する。
5月16日	視聴覚教材の利用等に関する規則（昭和60年福岡県教育委員会規則第7号）が公布される。
昭和61年4月1日	第2代所長に加来宣幸、次長に高倉豊が就任する。
12月20日	上山窯が完成する。
昭和63年4月1日	第3代所長に山口春禮、次長に古賀雉里が就任する。
平成元年4月1日	第4代所長に濱地甫伯が就任する。
6月14日	第5代所長に鹿毛勲臣が就任する。
7月	社会教育総合センター施設ボランティア「若杉の会」が発足する。
平成3年4月1日	副所長に小野敏弘が就任する。
平成4年4月1日	第6代所長に窪田康徳が就任する。
7月24日	社会教育総合センターの利用者が100万人を突破する。
12月24日	キャンプ炊飯場新設。
平成5年4月1日	第7代所長に松崎輝生が就任する。
平成6年4月1日	第8代所長に大神俊明、副所長に石川元彬が就任する。
10月16日	あじさい小屋が完成する。
平成8年4月1日	第9代所長に森本精造、副所長に弥永親一が就任する。
9月1日	施設ボランティア「若杉の会」の名称を学習ボランティア「若杉の会」に変更する。
平成10年4月1日	副所長に伊藤高次が就任する。
5月	ふくおか生涯学習ネットワーク運用開始する。
7月14日	レストランがバイキング化され、パン工房が設置される。
平成11年2月12日	炭焼窯が完成する。
3月	学習ボランティア「若杉の会」10年のあゆみを発行し、5月8日に10周年記念交流会を開催する。
4月1日	副所長に正平辰男が就任する。
平成12年3月31日	山道等災害復旧工事が完了する。
4月1日	第10代所長に瓜生浩平、副所長に原宜賢が就任する。
4月	ふじっ子林道が開通する。
平成13年2月	パソコンルームを設置する。
4月1日	第11代所長に安野義勝、副所長に宿里聡士が就任する。
11月18日	社会教育総合センターの利用者が200万人を突破する。
平成14年4月1日	第12代所長に重松孝士が就任する。
平成15年3月	緊急地域雇用創出特別基金事業により、山林を整備する。
平成15年4月1日	副所長に濱田信也が就任する。
平成15年11月14日	創立20周年記念行事（式典、体験活動フォーラム、体験活動カーニバル）を実施。
平成15年12月1日	正門前に信号機設置。
平成16年3月31日	あじさい炊飯場が完成する。
平成16年4月1日	福岡県立社会教育総合センター組織・機構改編（グループ制導入）
平成17年4月1日	第13代所長に菊川律子、副所長に高橋章が就任する。

施設配置図

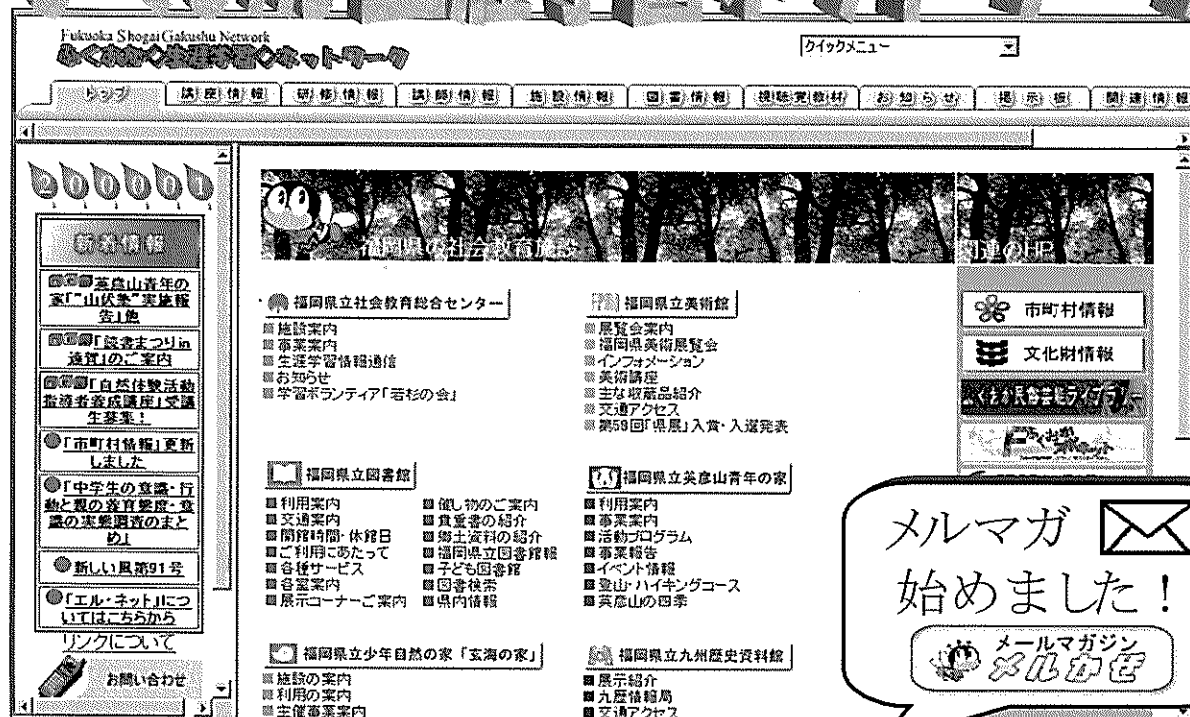


交通案内



みなさんの学びをサポートします

ふくおか生涯学習ネットワーク

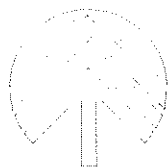


URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>

ふくおか生涯学習ネットワークでは……

県内10カ所の社会教育関係施設の情報を見ることができるほか、県内のスポーツ情報、文化財の情報、市町村の情報及び下記の情報を取得できます。

- 講座情報**
県民の方が参加できる講座・教室・講演会の情報及びその開設機関の情報検索ができます。
- 研修情報**
家庭教育・青少年教育・社会教育・学校教育・婦人教育・成人教育・視聴覚教育・ボランティア活動関係の研修情報を提供しています。
- 講師情報**
県内全域で活動できる各分野の講師・指導者の情報検索ができます。
- 図書情報**
県立図書館の横断検索により、福岡県内のおもな公立図書館の和図書の蔵書検索ができます。
- 視聴覚教材情報**
県視聴覚ライブラリーの貸出可能な16ミリフィルム、ビデオテープの情報検索ができます。
- お知らせ**
生涯学習・社会教育に関する関連情報を提供しています。
- 掲示板**
生涯学習に興味をお持ちの方が、自由に情報交換を行うことができる電子掲示板です。
- メールマガジン**
希望される方に、社教センターを中心に県や市町村等の生涯学習・社会教育情報を電子メールで送付します。



所 章

社会教育総合センターが、県民の生涯学習を推進する中心的な施設として充実発展していくことを願って、木が上へ上へと伸び、大きな繁りとなっていく姿をイメージしています。

福岡県立社会教育総合センター要覧

編集・発行 福岡県立社会教育総合センター
〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町金出3350-2

電話番号 (092)947-3511(代表)
(092)947-3514(視聴覚ライブラリー)
(092)947-3515(家庭教育相談「親・おや電話」)
(092)948-0728(学習相談)
(092)947-8029(FAX)